

住宅実験・展示棟「住^{じゅう}テク^{ラボ}Labo」完成 ～より良い住まいと暮らしの提供を目指して～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、当社が開発した住宅関連の最先端技術を集めた住宅実験・展示棟「住テク Labo」を小牧製作所の構内に開設しましたので、お知らせいたします。



当社は、創業以来のコア技術である高分子配合技術を活用して、住宅の安全性・居住性を高める製品を開発し、商品化を進めております。地震や車両通行などによる揺れを軽減するダンパーや、室温を快適に保つ窓用省エネフィルムは、多くのお客様から高い評価をいただいております。また、少子高齢化時代を迎え、在宅でも使える医療・介護・健康関連製品の開発も、今後加速してまいります。2015年度を最終年度とする中期経営計画「2015年 TRI GROUP VISION」でも、「住環境」「医療・介護・健康」を重点分野と位置づけております。

今回新設した「住テク Labo」は、住宅関連製品の試験設備として、また当社の住宅関連製品の機能を体感しながら理解できる展示施設として活用してまいります。実際の家を使った実験が社内でも可能になることから、よりの確で迅速な製品開発を実現できます。

なお、「住テク Labo」の名称は、「住宅関連製品の技術研究棟」を意味しています。

<主な展示製品>

棟内では、1階に同じ構造の2室を設け、階上で人為的に子どもの飛び跳ねる音や歩行音を再現。床の衝撃音を低減する「重量床衝撃音対策用ダンパー」の有無により、この2室で効果を比較することができます。屋根裏には車両の通行で発生した交通振動などを抑制する「Multi-Type TMD」を取り付け、振動の軽減効果を体感していただけます。

このほか、地震の揺れを吸収し、建物の変形と損傷から家を守る木造住宅用制震システム「TRC ダンパー」、夏と冬に大きな効果を発揮する窓用高透明省エネフィルム「リフレシャイン」、介護現場での活用を想定したオールゴムセンサ「スマートラバーセンサ」関連製品などを展示しています。

<製品概要>

TRCダンパー

地震時の木造住宅の損傷を低減する制震システム。新築はもちろん、既存の住宅のリフォームにも適しています。特殊粘弾性ゴムが地震エネルギーを熱エネルギーに瞬時に変換し、大きな揺れを抑えます。



Multi-Type TMD

主に3階建て鉄骨住宅の交通・生活振動に対して、横揺れを低減する制振装置。屋根裏や屋上に設置します。当社の装置は、メンテナンスフリーで、マスが4分割されており、安定的な効果を発揮できるのが特長です。



重量床衝撃音対策用ダンパー

上階床で発生した振動を抑制することで下階へ伝わる衝撃音や歩行音を低減するデバイス。高減衰ゴムが振動を吸収し、不快な衝撃音が下階へ響くのを和らげます。



リフレッシュイン

窓用高透明省エネフィルム。住テク Labo では、夏のジリジリ感を緩和する遮熱機能と、冬の室内暖気を保つ断熱機能を備えた遮断熱フィルムの効果を体感できます。



スマートラバーセンサ

柔軟なゴムに電極を印刷した、伸縮性の高いオールゴムの圧力センサ。ベッドの表面や車椅子の座面にセンサを搭載し、モニター画面と接続することにより、体の圧力のかかり具合を視覚的に把握でき、床ずれ防止や適切な体位の維持などの介護シーンに有効です。



所在地	愛知県小牧市東三丁目1番地
面積	敷地面積 150 m ² 、延床面積 96 m ² (木造2階建て)
展示製品	TRCダンパー、Multi-Type TMD、重量床衝撃音対策用ダンパー、リフレッシュイン、スマートラバーセンサ、TSK (住宅基礎用化粧型枠) など